

シンポジウム シリーズ「心身症とからだの気づき」

身体の気づきと共感

Interoception and Empathy

～認知神経科学の現状と展望～

アレキシソミア研究会では、「心身症におけるこころとからだの気づき」をテーマに、アレキシソミア（からだの気づきの低下）の臨床について議論を重ねてまいりましたが、このたび関連領域の専門家をお招きしてシンポジウムを開催することになりました。

今回は認知神経科学の立場から、「からだの気づき」と「共感」について、福島宏器先生にそのメカニズムや研究の最前線についてお話し頂き、心理学や心身医学の観点からの議論を加えてみたいと思っております。

皆様のご参加をお待ちしております。

講師: 福島宏器

関西大学社会学部准教授

コメンテーター:

菅村玄二

関西大学文学部准教授

神原憲治

関西医科大学心療内科学講座講師
京都ノートルダム女子大学大学院
心理学研究科客員准教授

司会: 村川治彦

関西大学人間健康学部教授

講師略歴: 2001年東京大学教養学部卒業。2006年同大学院総合文化研究科広域科学専攻博士課程修了。米国カリフォルニア大学デービス校 (Center for Mind and Brain, UC Davis) 訪問研究員などを経て2011年より関西大学社会学部に助教として着任。2012年准教授となり現在に至る。主要論文に「他人の損失は自分の損失? - 共感の神経的基盤をさぐる」(開一夫・長谷川寿一編 『ソーシャルブレインズ』第9章, 東京大学出版会 2009年), "Association between interoception and empathy: Evidence from heartbeat-evoked brain potential." International Journal of Psychophysiology. 79(2), 259-265 2011). など多数。
<http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~fukush/index.html>

開催日

2015年 **1月17日** (土)
14時~17時(受付13時30分~)

場所

関西大学うめきたラボラトリ
グランフロント大阪ナレッジキャピタル
タワーC9階 (901号室)

参加費

500円(当日お支払いください)

申込み

下記サイト内のお申込みフォームからお願いします
<http://body-thinking.com/alexisomia/>



主催: **アレキシソミア研究会**

後援: 関西大学文学研究科身体文化専修、関西大学大学院心理学研究科
関西医科大学心療内科学講座、身の医療研究会

お問合せ: アレキシソミア研究会

alexisomia@gmail.com
<http://body-thinking.com/alexisomia/>
発起人: 村川治彦、神原憲治
世話人: 吉嶋かおり